



暫定期間計費業務参考書第五ノ七

一般需要額ノ調査ニ關スル事項(案)

資企G四〇五(六二)號

昭和六年 五月 八日

參照文書 G四〇五ノ二號

資源局 企 業 部

希望 本案ニ付テハ五月二十日頃迄ニ關係各部會關係官ノ御意見承リ度
尙格別ノ修正ヲ要セザルトキハ原案ニ依リ資源局ニ於テ調査ニ着手致
度候

(備考) 一般需要額ニ關シ指示事項及既定ノ業務參考書ニ定ムル所左ノ

如シ

一 各廳戰時需要額以外ノ需要ニ付テハ特ニ配當ヲ行ハザルモ全般
ノ補填計費ニ資スル爲一般需要額トシテ之ヲ掲記ス中ニ就キ國民
生活需要額ノ調査アリタルモノニ就テハ内譯トシテ之ヲ掲記ス

(指示事項第十六條第五條參照)

二 一般需要額ノ調査ノ機關ノ機關ガ業務遂行ニ必要ナルモノノ中自

應ノ擔當資源ノ需要額、陸海軍省戰時需要額充足ノ爲必要ナル擔當資源ノ需要額及國民生活需要額（此等ハ一般需要額中ニ包含セラレルモノナリ）ノ調査ニ關シテナク平時ニ於ケル國內消費額ヲ基準トスル諸般ノ狀況ヲ顧慮シ總括的ニ一般需要額ヲ推定ス

前項推定ノ基準タル平時國內消費額ハ各領域毎ニ現況調査ニ依ル生産額及輸出額並ニ其ノ他ノ食料ニ依リテ推算シタル消費額ノ集計ヨリ陸海軍省平時需要額ヲ控除シタルモノトス

尙國民生活需要額、其ノ他一般需要額中ニ包含セラレルモノハ内譯トシテ區別スルモノトス

各資源ニ付特ニ定ムベキ事項ハ別ニ定ムル所ニ依ル（業務參考書第五ノ二中第三參照）

第一 一般需要額ノ調査上各資源ニ關シテニ考慮スベキ事項概ネ左ノ如

（註）記事上（一）ヲ附セルモノハ第二次需要額トシテ調査スルモノト

ス

資源番號	資源名	記
一四〇一	船員	(汽船ニ歸スル計報案作成後調査ス)
〇二	自動車運轉手	(自動車ニ關スル計報案作成後調査ス)
〇三	無線通信有技者	調査セズ
一五	其ノ他ノ勞務者	調査セズ(各艦戰時需要額ニ對スル配當計費作成ノ後殘存員數ニテ一檢需要ニ何ノ程度迄應ジ得ルヤヲ檢シ必要ニ應ジテ補填所員數ヲ定ム)
二一〇一	明四才以上牡馬	農耕及小運送用ニ必要ナルモノトス
〇二	明四才以上牝馬	農耕及小運送用並ニ蕃殖維持ニ必要ナルモノトス
〇五	種牡馬	蕃殖維持ニ必要ナルモノトス

二二一		〇一	米	國民生活需要額トス
		〇二	大麥	國民生活需要額及飼料用トス
		〇三	小麥	國民生活需要額トス
		〇四	裸麥	
〇三		〇一	魚類	調査セズ
〇四		〇一	牛肉	調査セズ（配當殘額ガ何ノ程度迄一般需要ヲ充足シ得ルヤヲ檢シ必要ニ應ジテ補填所要額ヲ定ム）
		〇二	豚肉	
〇五			鹽	國民生活需要額並ニ塩藏及化學工業用トス 特ニ推定ノ基準ヲ示サザルモノニ付テハ戰時工業ノ趨勢其ノ他各種ノ主要用途ヲ考察シテ概括的ニ推定スルモノトス
二二三			原料材料	
〇一			鐵	（銑及鋼ノ生産額概定後調査ス）
〇二			銑	
				（鋼ノ生産額概定後調査ス但シ屑鐵ヲ代用品トシテ利用シ得ル額ヲ控除ス）

											〇三	台金銑	(特殊鋼ノ生産額概定後調査ス)
											〇四	鋼塊	(鋼材及鋼鑄物ノ生産額概定後調査ス)
											〇二	鋼材	各種ノ用途ニ付戦時消費状況ヲ考察シテ推定ス
											〇三	特殊鋼	右ニ同ジ
											〇四	鋼鑄物	右ニ同ジ
									〇五			屑鐵	(鋼ノ生産額ノ爲必要ナルモノニ付調査ス)
									〇六			黄銅	調査セズ
												白金	
												鉛	
												亜鉛	
												錫	
												ニッケル	
												アルミニウム	
												マグネシウム	
												アンチモン	
												水銀	

二四 窒素	二三 石灰窒素	二二 硫酸アンモン	二一 液体アンモニア	一三 苛性ソーダ	一ニ ソーダ灰	〇三 塩酸	〇二 硝酸	〇九 一硫酸	〇八 一カーボアンゲム	〇七 一智利硝石
石ニ含有セラール窒素分トス ノ原料トシテ必要ナルモノ並ニ肥料用智利硝石ニ含有セラール窒素分トス	國民生活需要額（肥料用）トス	國民生活需要額（肥料用）トス	（硝酸ノ生産計画 概定後調査ス）					（各種用途特ニ迴燐酸石灰、硫酸アンモン、石油精製等主要ナル用途ニ付考以シテ推定ス		國民生活需要額（肥料用）トス

二 三 〇 九	三 一 一 ベ ン ゾ ー ル	
三 二 ト ル オ ー ル		
三 三 石 炭 酸	國 民 生 活 需 要 領 醫 藥 用 ノ 外 工 業 用 ト ス	
四 一 ア ル コ ー ル	右 ニ 同 ジ	
四 三 ア セ ト ン		
五 一 グ リ セ リ ン	國 民 生 活 需 要 領 （ 醫 藥 用 ） ノ 外 工 業 用 ト ス	
一 一 〇 一 菜 種 油		
〇 二 亞 麻 仁 油		
〇 三 ヒ マ シ 油	國 民 生 活 需 要 領 （ 醫 藥 用 ） ト ス	
一 二 〇 一 船 底 塗 料	（ 船 舶 ニ 關 ス ル 計 畫 ガ 概 略 作 成 セ ラ レ タ ル 後 調 査 ス ）	
一 三 〇 一 生 ゴ ム		
一 四 〇 一 牛 皮 革		
〇 二 馬 皮 革		

7

0654

三三五	棉花	國民生活需要額（被服及衛生材料等）ノ外其 他ノ紡績業用トス
一七	羊毛	國民生活需要額（被服用）トス
一四	工作機械器具	戰時機械工業ノ趨勢ヲ考察シテ概括的ニ推定ス
一六	石炭	各種ノ用途ニ付戰時消費狀況ヲ考察シテ推定 ス
〇三	燐炭	石ニ同ジ
〇四	原油	（輕質油ノ生産額概定後調査ス）
〇二	重油	各種ノ用途ニ付戰時消費狀況ヲ考察シテ推定 ス
〇三	輕油	各種ノ用途ニ付戰時消費狀況ヲ考察シテ推定 ス
〇四	燈油	各種ノ用途ニ付戰時消費狀況ヲ考察シテ推定 ス
〇五	揮發油	戰時工業ノ趨勢ヲ考察シテ概括的ニ推定ス
〇六	機油	戰時工業ノ趨勢ヲ考察シテ概括的ニ推定ス
二七	電力	主要ナル需要地方（業務參考書第八ニ定ム ル所ニ依ル）毎ニ各種ノ用途ニ付戰時消費狀 況ヲ考察シテ推定ス

三一	〇一		工場	調査セズ
四一	〇一		鐵道	（海上輸送トノ關係ヲ第二次調査ニ於テ考慮ス
〇二	〇一		船	一般輸送用汽船輸送力ニ付調査ス
				<p>一 國內輸送ニ關シテハ主要港間輸送額ヲ基準トシ、戰時輸送ノ趨勢ヲ考察シテ概括的ニ推定ス此際主要輸送貨物ノ種類ハ一應平時ノ儘トシ著シキ交錯輸送及逆輸送ハ制限シタルモノヲ推定ノ基礎資料トス（鐵道輸送トノ關係ハ第二次調査ニ於テ別ニ考慮ス）</p> <p>二 國外輸送ニ關シテハ戰時貿易ノ趨勢ヲ考察シテ概括的ニ推定ス（中ニ就キ重要物資ノ輸入ニ必要ナルモノハ補填計畫概定後第二次調査ニ於テ調査シ必要ニ應ジ一般需要額ニ修正ヲ加フルモノトス）</p>

資源番號	資源名	記事
二三〇一〇	大麥	飼料トシテノ平時消費額
二三〇二〇	普通銑	

資源番號	資源名	記事
〇二	自動自轉車	適當ニ制限ス
〇三	特殊自動車	消防自動車以外ハ調査セズ
〇一	乗用自動車	適當ニ制限ス
〇二	貨物自動車	大都市ニ於ケル小運送特ニ鐵道及港灣ト關聯セル小運送ノ趨勢ヲ考察シテ推定スルモノトス

第二 平時國內消費額推算ニ當リ陸海軍省平時需要額ヲ控除スル資源左ノ如シ

陸揚及積込能力ニ付平時ニ於ケル趨勢ヲ考察シテ概括的ニ推定ス（鐵道及汽船ノ輸送トノ關係、重要物資ノ輸送等ニ關シテハ夫々概略ノ計算作成後考慮スルモノトス）

五	四	三	三	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一	一	三	一	五	二	一	四	三	六	五	四	三	二	一
ダ	ア	石	ベ	棉	硝	硫	鋼	特	六	五	四	三	二	一
リ	ル	炭	ン	花	酸	酸	鑄	殊	鋼	鋼	鋼	軌	鋼	條
セ	コ	酸	ゾ				物	鋼	管	線	板	條	竿	鋼
リ	ー		ー						筒	材				
ン	ル		ル											

各資源ニ付平時部外ヨリ現形ノ儘取得セル
 額（購入成品ノ換算、残存額ノ差引等ヲ
 入
 ゼス）

第三 一般需費額ハ全國ヲ一括シテ推定シ特ニ必要ナルモノニ付テハ各
 領域ニ於ケル特殊事情ヲ考慮スルモノトス。

二七						〇四	一六〇一
	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一		
電力	揮發油	燈油	輕油	蠟油	原油	石炭	
部外ヨリ購入セル額	除ク		右ニ同ジ但シ自ラ生産又ハ輸入セルモノヲ				

(終)